

## 平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	木原奉文
		全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4169 林業振興対策事業												
所 属	150100 産業振興部・農林課												
施 策	05012200 森林の多面的機能の維持保全と共生												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費											
	事業	010000 林業振興対策事業											
事業目的						事業概要・効果							
森林のもつ多面的機能を強化するため、森林の整備・作業道等の開設を行い、間伐材の搬出を促進する。また、森林づくり推進支援金を活用して、間伐材製品の設置により森林整備の必要性の啓発を行う。						林業振興に対し、森林のもつ多面的機能の維持と保全と共生が図られる。							

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
丸太柵工=3段 24m ベンチ大 6台 ベンチ折込 8台 松くい虫伐倒駆除 85本 60.47m <sup>3</sup>	丸太柵工=3段 40m ベンチ大 6台 ベンチ折込 3台 松くい虫伐倒駆除 40本 30m <sup>3</sup>
平成29年度 実績	平成30年度 実績
丸太作工 3段 30m 間伐材ベンチ ベンチ大2台 ベンチ折込 2台 松くい虫被害木伐倒駆除（準公共施設）65本 60m <sup>3</sup>	丸太柵 3段 20m 間伐材ベンチ 丸太ベンチ 4台 松くい虫被害木伐倒駆除（準公共施設）37本 30m <sup>3</sup> 林地台帳管理システム整備（林地台帳管理システム作成業務・林地台帳整備業務）
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
丸太作工 3段 30m 間伐材ベンチ（丸太ベンチ）4台 松くい虫被害木伐倒駆除（準公共施設）50本 40m <sup>3</sup>	丸太作工 3段 30m 間伐材ベンチ（丸太ベンチ）4台 松くい虫被害木伐倒駆除（準公共施設）50本 40m <sup>3</sup>

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		6,029	10,963
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	310	610
	地方債	0	0
	その他	15	5
一般財源		5,704	10,348
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	715.0	715.0
	嘱託職員	862.5	862.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,577.5	1,577.5
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		7,606.5	12,540.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	307	消耗品(間伐材ベンチ)239、燃料費70
13節 委託費	3,737	坂田山共生の森施設管理委託料100、草刈等委託559、林地台帳管理システム整備委託3078
15節 工事請負費	430	遊歩道丸太柵工430
19節 負担金補助及び交付金	96	県治山林道協会負担金ほか96
その他	1,459	報酬1440、旅費4,000、手数料15、土地借上料1

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	440	消耗品287、燃料費78、印刷製本費10、修繕費65
13節 委託費	5,478	坂田山共生の森施設管理委託料100、草刈等委託800、林地台帳管理システム整備業務330
15節 工事請負費	411	遊歩道パネル柵整備工事411
19節 負担金補助及び交付金	99	県治山林道協会負担金ほか99
その他	4,535	報酬、役務費23,土地借上料1、その他報酬1,440

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	森林が持つ地球温暖化防止、水源涵養、土砂流失防止などの多面的機能を強化するために、森林整備等は必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	森林の土地所有者や境界に関する情報を取りまとめた林地台帳の公表に向け、管理システムの整備を行った。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	今後、森林環境譲与税も財源の一部として事業を行う。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

林地台帳管理システムを整備するとともに、新たな森林管理システム運用に向けた準備を行うことができた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

新たな森林管理システムの運用を推進することで、森林整備を進めることが必要。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

森林づくり県民税の有効活用と新たな森林管理システムによる整備を進めることが必要。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--